

西唐津小学校の新型コロナウイルス感染症対策(指導編)について

3学期の新型コロナウイルス感染症対策の再々強化ポイント(R4.2.7 更新)

「感染症対策の再強化」と「学びの継続」の両立 ⇒ **まん延措置中、感染対策に重心を傾けます。**

下記、本校(全職員)で共通理解して対応している感染症対策です。全職員一丸となって指導するための資料ですが、家庭のご理解とご協力がとても重要となっていますので、学校ホームページ上でお知らせします。ご確認ください。(※朱書きは、2/7 更新)

☆感染症対策の徹底

1 朝の四重五重の健康状態把握体制・検温・健康観察・マスクの確認【徹底した感染拡大防止対策】

- ① 第1チェック 家庭での検温・健康観察の徹底、発熱等で登校控えの周知(健康観察カード)
- ② 第2チェック 校門で広汎な状況と児童の全般的な様子について観察。
- ③ 第3チェック 玄関での児童の健康観察と検温の有無の確認、効果的なマスク着用状況の点検。
- ④ 第4チェック 教室での入念な「朝の健康観察」の時間の確保。(読み聞かせなし・フッ素洗口なし。)
- ⑤ 第5チェック 朝の保健室複数職員対応(8:15～) 37度以上の児童は健康カードをもって保健室へ

2 マスク着用の徹底・飛沫防止ガードの常時設置(1/17より実施)に強化【飛沫防止対策】

- ・布マスク等の緩み等があれば、学校備え付けの不織布マスクを渡し、心配な状況を家庭へ連絡。
- ・できるだけ効果が高い**不織布マスクを推奨**する。
- ・「飛沫防止ガード」は、毎日1回、各自の除菌シートでふいて衛生さを保つ。(除菌シートの準備)
- ・グループ別の課題研究学習は控える。授業過程のグループワークは、間隔確保・防止ガード設置で行う。

3 各教室における換気の徹底【避 密閉】

- ・暖房効率を考慮しつつ、前後左右四カ所の窓ドアを15cm程度開け、対角線上に風の通り道を作る。

4 座席の工夫による間隔の確保【避 密接】

- ・できる範囲で座席間隔を広げるよう工夫する。特別教室でも同様に対策を工夫する。
- ・特別教室〔図書室…飛沫防止ガード常時設置、椅子の削減(30)〕・PC室…椅子の削減(30)〕

5 屋内集合時の間隔の確保【避 密集】

- ・状況を見極めながら、当面の間は、屋内での全校集合は回避、放送・オンライン集会等で行う。
- ・机や椅子のないフロアに集合整列する場合は、距離を確保する並び方・距離間隔を身に付けさせる。

6 手指消毒スプレー・ポンプ活用の強化【各出入口及びトイレの設置による徹底】

- ・玄関及び各教室の出入りに確実に設置し、手指消毒の継続。残量の確認と液補充の徹底。

☆各場面での具体的な感染症対策 ⇒ **感染リスクの高い活動のさらなる制限**

1 グループ学習における対策⇒**グループ学習は控える。**

- ・探求的学習において、過程としてのグループ学習(GW)を行う場合、椅子の向きを変えるだけにする、時間を短縮するなど、別の感染予防対策を的確に施したうえで学習の効率化を図る。

2 歌唱指導における対策 **2/7から感染リスクが高いとされる活動を控える。(歌・リコーダー・鍵盤の演奏)**

- ・朝や帰りの歌は控える。
- ・音楽の時間の歌唱指導・呼吸を使う楽器(リコーダーや鍵盤)指導は控える。

3 給食指導における対策

- ・これまで通り黙食を徹底し、飛沫防止ガードを意識させる。準備や片付け等、必要な途中離席の際には、マスク脱着の習慣を身に付けさせる。
- ・これまで通り十分な手洗い(二度洗い・手指消毒)を徹底する。
- ・給食が児童の机に置かれた後に食缶へもどす「減らす行動」は禁止する。
- ・給食を増やす場合の配膳は、給食係または担任等のみが配膳することができる。
- ・完食が困難な児童については、配膳時に配慮するとともに下膳時に食缶に戻す。途中で離席しない。
- ・**当分の間、家庭科の調理実習は控える。**

4 歯磨き指導における対策⇒**1/17から当分の間、集団生活での歯みがき・うがいを控える。**

- ・1/17から当分の間、学校での歯みがき・うがい・フッ素洗口を中止する。

5 登下校時における対策

- ・3学期は、できるだけマスク着用で登下校する。
- ※屋外であり熱中症との関連で明確な指導はしないが、現在の児童の習慣で問題はない模様。

6 玄関・靴箱付近での対策

- ・開口部が一つしかない玄関ホールは開錠・開扉状態で換気対策をする。(防犯対策の意識も)